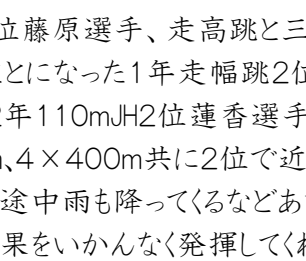
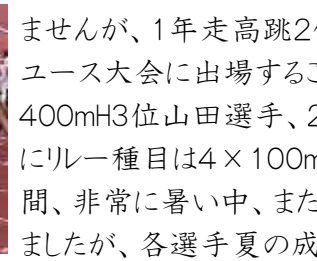


8月20日から22日まで陸上部が県ユース大会に出場しました。写真は優勝者ののみを取り上げましたが、上段左から1年400m足



立朱優選手、2年砲丸投須田選手、2年400mH 金田選手、中段左から1年ハンマー投黒河選手、2年ハンマー投笹倉選手、2年三段跳藤本選手、下段左側1年110mH 左から3人目足立英士選手です。合計7名の選手がそれぞれの学年での種目別優勝を果たしました。2年須田選手は、ハンマー投でも2位に、2年金田選手は110mJHでも3位に、1年黒河選手は円盤投でも2位に、2年藤本選手は走幅跳でも2位に入るなど2種目にわたって活躍。写真掲載してい

ませんが、1年走高跳2位藤原選手、走高跳と三段跳で3位に入った神崎選手、近畿ユース大会に出場することになった1年走幅跳2位長谷川選手、110mJH3位原科選手、400mH3位山田選手、2年110mJH2位蓮香選手、走高跳3位小島選手がいます。さらにリレー種目は4×100m、4×400m共に2位で近畿大会への出場を決めています。3日間、非常に暑い中、また途中雨も降ってくるなどあまり気候条件に恵まれない中ではありましたが、各選手夏の成果をいかに発揮してくれました。中には実力を発揮できずに目

標に届かなかったり、足の不調のため棄権を余儀なくされた選手もいましたが、総合優勝も果たし、優勝旗を持ち帰ることができました。6連覇です。また、2年三段跳で本校卒業生の持つ大会記録を破った藤本選手が2年男子の

優秀選手賞をいただき、優勝監督賞を大久保先生がいただきました。おめでとうございます。夏の疲れをとって秋シーズンの健闘を祈っています。

夏季休業も残り10日あまり。今年の夏は陸上部山口選手の全国優勝、野球部の甲子園出場と1勝など特別な夏季休業でした。なかなか経験できない夏を過ごし、充実した時間だったように思います。皆さんにとってもこのような大きな体験はなかなかできなかったと思いますので、夏季休業の振り返りをしながら2学期の準備を進めてもらえたらと思います。私自身は、全国優勝も目の前で見ましたし、甲子園のアルプスタンドでの生徒と一緒にした応援や多くの観客を巻き込んだ応援、声援に勇気と元気をもらいました。さらに、甲子園に出たことで多くのOBの方々や市民の皆様から注目していただき、またお話をさせていただく中で今まで見えていなかったものや今後気をつけていかねばならないことなど教えていただいたように思います。本当に感謝です。今回の経験をどのように活かしていくかは人それぞれですが、感謝の気持ちを忘れることなく前を向いて進んで行ければと思います。

夏季休業の終わりと共に例年心を悩ましたり、自殺をしたりする若者が増えると言われていています。心の変化に気づき、生徒が安全安心に学校に通えるように2学期以降も気をつけていかねばなりません。十分な学習ができなかった人は、過ぎた時間を考えるのではなく、今ある時間を有効活用できるように考えを改めてください。振り返りは必要ですが、時が止まった状態では良い思考もできません。今の状況をしっかりと受け止めて、2学期の準備を進めていきましょう。新型コロナ感染も高止まりが続き、まだまだ気を抜けませんが、社会は止まることなく進んでいます。感染防止対策は一人ひとりの意識で変わってきますので、寮のある本校としては一人ひとりの感染防止意識を高め体調管理に努めることで感染拡大を防止していきたいと思っています。よろしくお願ひします。